



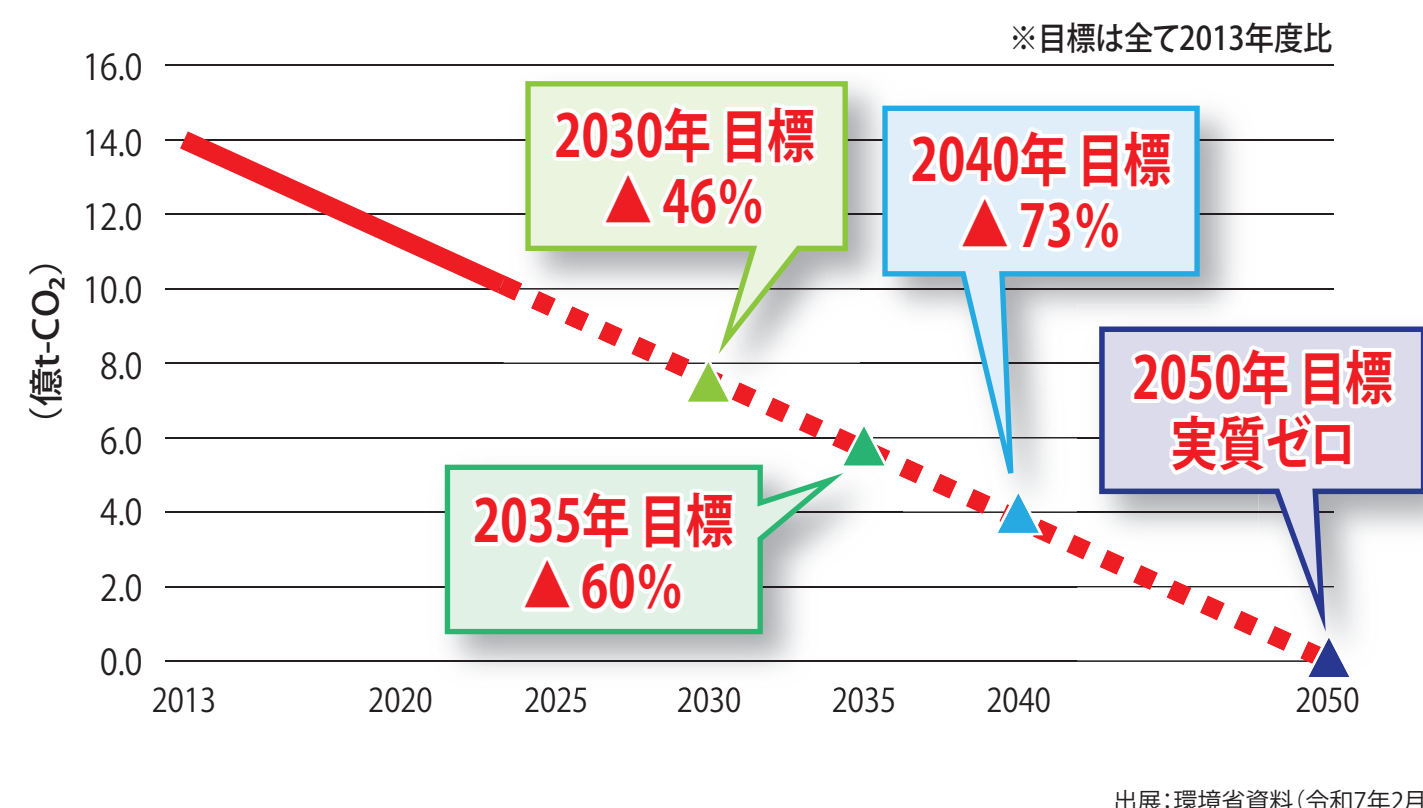
カーボンニュートラル対応
CARBON NEUTRAL

カーボンニュートラル対応の 必要性和トヨタL&Fの取組み

社会的な環境ニーズの高まり

温室効果ガスが増加すると地球温暖化が進行し、異常気象・生態系の変化などの深刻な影響が生じる

各国でカーボンニュートラル対応目標を定め、取組みを強化

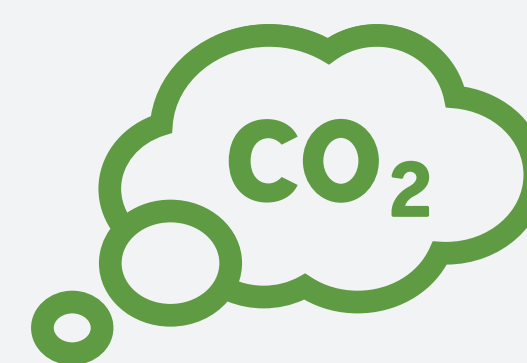


日本では、温室効果ガスを
2030年までに、46%の削減
2050年までに、実質ゼロを目指す

企業への影響

カーボンニュートラルは「地球環境の保護」と同時に「企業価値向上のための新たな経営課題」になっている。さらに、自社の企業活動からの排出だけでなく、サプライチェーン全般におけるCO₂排出量の把握・削減が必要

→ 大企業だけでなく中小企業も含めた全企業が対象に!



カーボンニュートラルに取り組まないことによるリスク

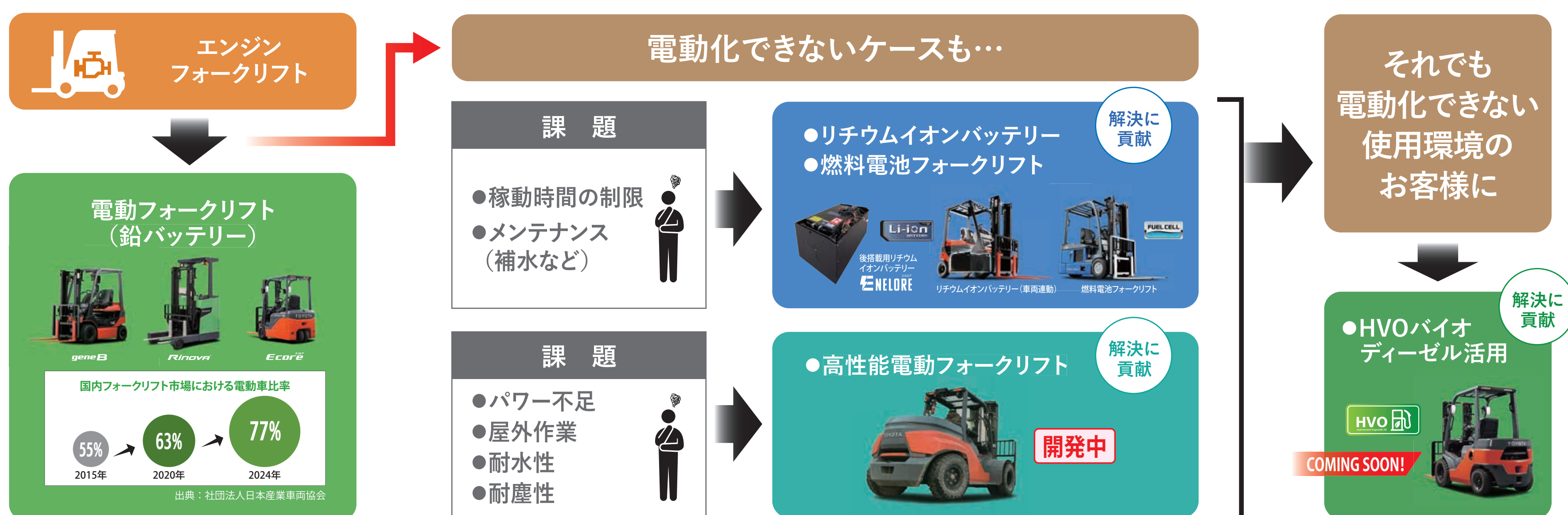
モノ・サービスが売れない	コストがかかる	人材が集まらない	カネが集まらない
お客様は自社のカーボンニュートラル目標達成のために、よりCO₂排出の少ない製品を選ぶ	企業は、CO₂排出量に応じて費用負担を負うことになる	若者世代は、カーボンニュートラルなどに積極的に取り組む企業で働きたいと考える	投資・融資機関は、企業のカーボンニュートラルへの取り組み姿勢で投資・融資判断をする

トヨタL&Fの取組み

ソフト面
無料物流診断やフリートマネジメント等を通じて、CO₂削減に貢献する提案を実施
(例: 適正台数提案やフォークリフトレス・動線改善など)

ハード面
環境ニーズに貢献する豊富な商品ラインアップの提供

産業車両機器の脱炭素化に貢献



TOYOTA L&F